住友電工グループニュースレター

# SEI World

2011 01

Vol.400

住友電工

住友電工グループは「Glorious Excellent Company」を目指します。

住友電工グループニュースレター
SEI World 2011 01 Vol.400

住友電工グループの目指すべき姿
「Glorious Excellent Company」

Glorious には400年余の歴史をもつ「住友事業精神」や「住友電工グループ経営理念」の具現化を、Excellent には持続的成長のための事業目標、すなわち住友電工グループの具体的・定量的なあるべき姿を示しています。

## Contents

2 社長メッセージ
新春のご挨拶

Excellent 3 特集
住友電工グループの
グローバル展開

Excellent 5 製品技術
～SEI子さんの製品講座～
窓用高透明日射調整・
断熱フィルム
リフレシャイン TU71 他

Excellent 6 住友電工新聞
『今月の一面』
韓国・㈱暁星と
スチールコードの
合弁会社を設立 他

Glorious 9 探訪「住友のこころ」
一隅を照らし続ける。

10 今月の関係会社紹介
住友電工電子ワイヤー㈱
住友電工
フラットコンポーネント㈱


### 今月の表紙

2010年度「SEI WORLD」の表紙テーマは「みち」です。
これまで歩んできたみち。そしてどこまでもつづく未来へのみち。毎月違った表情の「みち」の風景をお楽しみください。

President Message

住友電気工業株式会社 社長 松本 正義

# 新春のご挨拶

皆様、明けましておめでとうございます。平素は格別のご高配を賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、世界経済は緩やかな回復基調にあったものの、欧米では失業率の高止まりや信用収縮による景気停滞の長期化、中国などの新興国においても投機資金流入によるインフレ懸念、日本ではデフレ基調の長期化や恒常的な円高など、不透明感と不確実さが世界を覆った一年でありました。

こうしたなか、当社グループは、中期経営計画「12 VISION」の達成に向けて、メーカーの生命線であるモノづくり力の強化などの「内部固めの深耕」、新興国需要への対応強化として「新市場（グローバル市場）への展開」、コア技術を活用した新領域での新製品開発を推進する「新分野への展開」に取り組んでまいりました。

自動車関連事業では、国内生産拠点の効率化と中国・アセアン・北アフリカ拠点の拡充による原価低減、円高対応を進める一方、環境に寄与するアルミ電線を用いた軽量化ワイヤーハーネスを開発、納入いたしました。

情報通信関連事業では、旺盛な需要を捕捉するべく、中国で日本企業初となる光ファイバ母材の量産を開始し、また光通信技術を応用した近赤外光を用いた組成イメージングシステム『Compovision™』を開発、販売を開始しました。

エレクトロニクス関連事業では、中国・東南アジアをはじめグローバルな需要に対応する、フレキシブルプリント回路、フレキシブルフラットケーブル及び電子機器用ハーネスの共通拠点が稼働しました。また、世界初となるマグネシウム合金AZ91板材の量産化や白色LED用6インチGaN基板の開発等に成功いたしました。

電線・機材・エネルギー関連事業では、新興国の鉄道関連需要に対して空気ばねやトロリー線を拡販するとともに、高温超電導線や直流電力ケーブルの開発、拡販を推進いたしました。

産業素材関連事業では、需要が伸長する太陽電池向けソーワイヤーの台湾拠点の設置やスチールコードの供給体制の整備とコスト競争力の強化を目的に、タイ・中国での合弁事業を決定しました。また、超硬工具については、新興国の営業拠点を拡充するとともに、原料の安定確保と環境保全の両面からリサイクル技術の開発を進めております。

本年も、あらゆる分野でパラダイムシフトが発生し、先行き不透明な状況ではございますが、「Glorious Excellent Company」の実現に向けて、グループを挙げて「萬事入精」、「信用確実」、「不趨浮利」の住友事業精神を愚直に実践するとともに、お客様第一の精神で、皆様のお役に立てるよう努力してまいりますので、引き続き、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。皆様のご健康と一層のご発展を祈念いたしまして、新春のご挨拶とさせていただきます。

住友電工グループの

# グローバル展開

**現在、住友電工グループは、500社近いグループ会社から構成され、世界30数カ国で17万を超える社員が活躍しています。今月の特集では、約100年前の電線ケーブルの輸出から端を発した、当社グループのグローバル展開についてご紹介します。**

## 当社の歩み

**1915年**
電線輸出の販路拡大
海外売上高17万4千円
（中国、印度、南洋、ロシアへ）

**1916年**
海外売上高120万円

**1917年**
海外売上高200万円

**1949年**
電線課外国係発足

**1950年**
インドのナショナル・インシュレイテッド・ケーブル社とACSR等の技術指導契約を締結
（技術輸出の先駆け）

**1955年**
イギリスへ巻線設備を初輸出

**1956年**
戦後初めてパキスタンへ通信ケーブルを輸出

**1958年**
PC鋼線、鋼撚線を海外へ大量輸出

**1960年**
ニューヨーク駐在員事務所開設
（当社海外拠点第一号）

**1961年**
インドへ電線設備を輸出
（日本の本格的電線ブランド輸出第一号）

**1963年**
ベネズエラ送電線工事を受注
（当社海外送電線工事第一号）

**1964年**
外国部発足

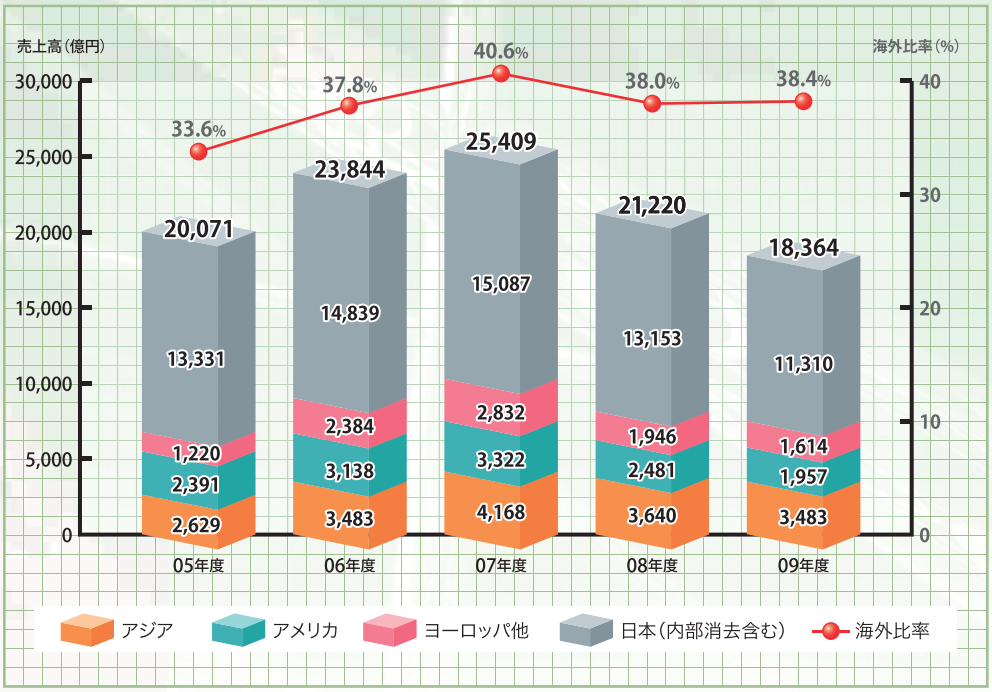
**1967年**
セイロン送電線工事を受注
（当時超大型送電線工事38億円）
南アフリカ国有鉄道の同軸ケーブル工事を受注
（初めての大型海外通信プロジェクト）

## グローバル展開の歴史

当社グループは、前身の「住友電線製造所」の時代から、電線の輸出を中心に海外売上高を拡大。1960年代になると、製品輸出に加えて徐々にフルターンキー方式のプロジェクトの受注が増え始め、海外事業を躍進させました。1985年のプラザ合意以降は、製造・販売拠点の海外進出が一段と加速し、幅広い事業分野で東南アジア、欧米に展開しました。近年では、ユーザーの海外進出の対応を図るとともに、地産地消でそれぞれの国・地域とともに発展することを目指しています。

## 海外売上高

**住友電工グループは、世界トップクラスのシェアを占める技術・製品を、アジア、アメリカ、ヨーロッパなど広く海外に提供しています。近年、海外売上高比率は増加傾向にあり、連結売上高に占める海外売上高比率は約40%で推移しています。**



**1969年** 海外事業部発足
タイに当社初の海外製造拠点「SIAM Electric Industries Co., Ltd.(現・Sumitomo Electric Wintec (Thailand) Co.,Ltd.)」を設立

**1970年** 韓国冶金株式会社に資本参加
(非電線初の海外合弁会社)
ロサンゼルス駐在員事務所開設

**1972年** Sumitomo Electric Europe S.A.設立

**1973年** シンガポールに巻線製造工場「Sumiden Singapore Pte.Ltd.(現・Sumitomo Electric Wintec (Singapore) Pte.,Ltd.)」を設立

**1974年** ナイジェリア西部州政府と合弁で電線工場「Nigeria Wire and Cable Company」を設立

**1976年** ナイジェリア通信工事受注

**1977年** イラン大型送電線工事受注
香港に総合販売会社「Sumitomo Electric Asia,Ltd.」を設立

**1978年** ブラジルにワイヤーハーネスの製造会社「Sumiden Tokai Do Brazil Industrias Electicas Ltda.」を設立(ワイヤーハーネス事業の海外進出第一号)

**1979年** アメリカに超硬工具の販売会社「Sumiden carbide America Inc.(現・Sumitomo Electric Carbide, Inc.)」を設立

**1980年** サウジアラビア送配電工事受注
アルゼンチン光ケーブルプロジェクト受注

**1988年** アメリカに当社初の海外金融子会社「Sumitomo Electric Finance U.S.A., Inc.」を設立
JUDD WIRE社を買収(当社初の大型海外企業買収)

**1989年** 北京に駐在員事務所を開設

**1991年** 海外初の交通管制システムをタイで構築

**1994年** 中国にワイヤーハーネスの製造会社「天津住汽車線束有限公司」を設立

**2008年** 中国に光ファイバ母材製造合弁会社「富通住電光纖(杭州)有限公司」を設立
エジプトに自動車用ワイヤーハーネスの製造会社「SE Wiring Systems Egypt S.A.E.」を設立

**2010年** 中国にエレクトロニクス製品共通事業拠点「住友電工電子製品(深圳)有限公司」を設立

## 自動車用ワイヤーハーネス事業のグローバル展開

当社グループは、世界のカーメーカーに自動車用ワイヤーハーネスを供給しています。欧州には1990年より本格的に進出し、以降もM&Aを通じて2001年にイタリアSEWS-Cabind S.P.A.を、2006年にドイツSumitomo ElectricBordnetze GmbHを発足する等、事業を拡大してきました。現在は、欧州向けの製造拠点として、東欧諸国(ポーランド、スロバキア、ハンガリー、ルーマニア、ブルガリア、ウクライナ)に加え、北アフリカのモロッコ、エジプト、チュニジアにも事業展開しています。現在、自動車関連の海外関係会社は約100社になります。

## 1989年　北京に駐在員事務所を開設 ～駐在員1人からのスタート～

中国には現在50社を超えるグループ会社がありますが、当社グループの中国への進出は、1989年(平成元年)に北京に駐在員事務所を設立したことにはじまります。所長と現地スタッフ1人で活動を開始し、政府関連諸機関との接触により情報を収集しながら人脈の構築に努める一方、広報活動を通じて中国市場でのビジネスチャンスを広げてきました。活動開始直後に天安門事件が勃発するという事態にも遭遇しましたが、中国経済はその後も順調に発展し続けたことから、順次、事務所、人員を増強しました。

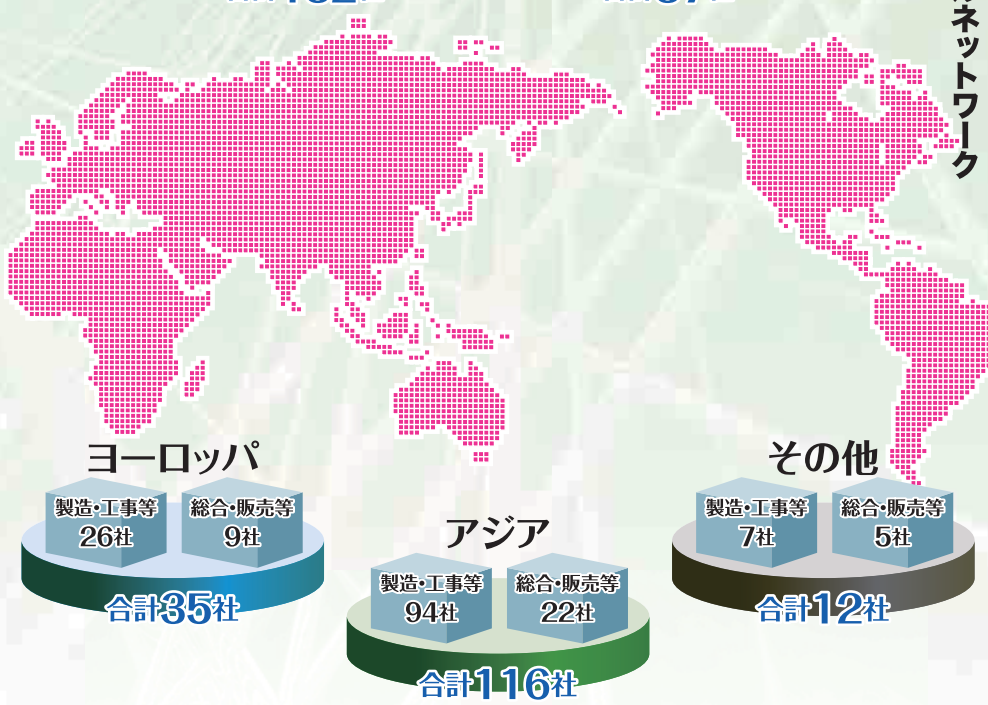
## 1976年　ナイジェリア通信網工事受注 ～人財を育てたプロジェクト～

ナイジェリア通信省から受注したプロジェクトは、受注金額722億円、電話局数38局という、当社初の大型通信網建設工事でした。当時、一企業が受注した市内電話網建設工事としては、世界にも例を見ない大規模なもので、300人の日本人と2000人の現地スタッフが携わり、受注から11年半の年月を費やし1988年に完工しました。プロジェクトの遂行により、当社の海外工事経験者が大幅に増えたうえ、成功が大きな自信となり、その後のプロジェクトへと引き継がれていきました。

## お知らせ

住友電工Webサイトの「関係会社一覧」ページの全面改訂を行いました。これまでは、掲載会社は一部にとどまり、掲載情報もテキストのみでしたが、このたびの改訂で掲載会社を拡大するとともに、掲載情報を充実させました。海外グループ会社は、国別に掲載されており、地図上からマウスカーソルで選択頂けます。また、国内グループ会社は、関連事業別もしくは50音順に整理し検索性を高めました。1月4日より公開しておりますので、ぜひご覧ください。

## グローバルネットワーク




※会社数は、2010年9月末現在の連結子会社と持分法適用会社の合計数です。

新入社員SEI太君と学ぶ
SEI子さんの製品講座
製品技術は、ワタシにまかせて!!

# 「日射調整」と「断熱」を兼ね備えた窓用高透明フィルム

本製品は建物窓の室内側に施工して使用します。新築の他、既存建物へも簡単に後付けすることができます。

平成22年度から改正省エネ法※1が施行され、事業者や、大規模住宅・建物に係る省エネルギー対策が強化されています。東海ゴム工業㈱では、工場やビルなどの省エネと$CO_2$削減に寄与する「リフレシャイン TU71」の販売を開始しました。

本商品は、樹脂フィルム上にナノレベルの極薄膜を多層積層した、窓ガラスに貼り付けて使用する環境対応商品です。窓用高透明フィルムとしては業界で初めて、太陽光の流入による室温上昇を抑える「日射調整」と、冬場の室外放熱を抑える「断熱」を兼ね備えた画期的な商品です。この機能により、1年を通して冷房・暖房エネルギー低減と$CO_2$削減の効果があります。また、スモークやミラー調フィルムと違いガラスに近い色調と透明性を併せ持ちます。

※1 省エネ法：エネルギーの使用の合理化に関する法律

## Point 1 採光性と日射遮蔽・断熱能力

太陽光のうち目に見える光（可視光）を選択して透過させ、近赤外熱線を90%遮断します。さらに、室内熱源から放射される遠赤外線を70%反射する機能により、以下の効果があります。

1. 理論限界に近い採光性と「日射調整」の両立を実現。採光性を損なうことなく冷房電力の削減や窓近傍の暑さ対策※2ができます。
2. 可視光透過率70%以上の高透明フィルムでは、業界初の「断熱」性能（熱貫流率4.4W/㎡・K）を実現しました。これにより採光を損なわずに冬場の暖房電力低減が可能になりました。
3. 冷暖房電力費を年間20～25%低減できます。（窓方向、建物、地域によって差があります。）

## Point 2 意匠性を損なわない

透明ガラスと同等の可視光反射でかつ無彩色調のため、透明ガラスが多用される建物に施工しても、意匠性を損ないません。特に採光性が重視されるショールームやオフィスビル、病院、学校などに最適です。

## Point 3 紫外線カット・防虫

室内流入する紫外線を99%以上カットするため、人や商品、内装品の「日焼け」を防止するとともに、夜間照明に虫が集まりにくくする効果があります。

## Point 4 窓ガラスの安全性向上

フィルムとガラスを強力粘着させることで、衝突や地震によるガラス飛散を防止し、安全性を向上させます。

※2窓近傍の暑さ対策：太陽直射による「ジリジリ感」が減ります。

リフレシャインは、東海ゴム工業㈱の商標です。

**仕様（代表値）**

| | | | リフレシャイン 日射調整・断熱グレードTU71 |
|---|---|---|---|
| 採光性 | 可視光透過率 | | 71% |
| 日射遮蔽性（日射調整） | 日射透過率 | | 39% |
| | 日射反射率 | | 35% |
| | 遮蔽係数 | | 0.49 |
| 断熱性 | 熱貫流率 | | 4.4W/㎡・K |
| 意匠性 | 可視光反射率 | | 7.9% |
| | 色調 | | 無彩色 |
| | 反射色 | a* | -1 |
| | | b* | -1 |
| ガラス熱割れ　安全性 | 日射吸収率 | | 26% |
| 紫外線遮蔽性 | 紫外光透過率 | | 0.5% |
| 安全性 | ガラス飛散防止性能 | 衝突破壊 | 合格レベル |
| | | 層間変位破壊 | 合格レベル |
| 試験方法：JIS A5759 | | | 幅1524mm×30m（ダンボール箱入り） |

お知らせ　特殊線事業部

# 韓国・㈱暁星とスチールコードの合弁会社を設立

現在、タイ、中国では、タイヤメーカー各社が生産体制の増強を進めています。こうした中、当社は、自動車用タイヤの補強材であるスチールコード※1事業について、供給体制の整備と更なるコスト競争力の強化を目的に、テキスタイルコード※2でトップシェアを有し、世界のタイヤメーカーへの強い営業力を持つ㈱暁星と、タイ、中国において上下工程一貫してスチールコードを製造販売する合弁事業を実施します。

自動車関連産業が集積するタイ・ラヨーン県に立地予定の新会社は、タイ国内需要及び海外輸出拠点に、また中国については、㈱暁星の100%子会社である暁星鋼簾線(南京)有限公司の持分30%を取得し、当社との合弁会社として運営することで、拡大する中国国内需要を捕捉していきます。

※1スチールコード：ラジアルタイヤの補強に使用される高炭素鋼高強度より線。
※2テキスタイルコード：ナイロンなどの合成繊維製のタイヤ補強材。

**タイ合弁新会社の概要**

| | |
|---|---|
| 社　名 | 住電暁星スチールコード(タイ)㈱　(仮称) |
| 所在地 | タイ・ラヨーン県アマタシティ工業団地 |
| 資本金 | 11.3億バーツ(約30億円、1バーツ約2.7円で換算) |
| 出資比率 | 当社：70%　㈱暁星：30% |
| 設　立 | 2011年1月(予定) |
| 稼働開始 | 2012年1月(予定) |
| 販売量 | 2014年：約3,000t/月 |
| 売上計画 | 2014年：約50億円 |

**中国合弁会社の概要**

| | |
|---|---|
| 社　名 | 暁星住電鋼簾線(南京)有限公司　(合弁開始後の仮称) |
| 所在地 | 中国・南京市 |
| 資本金 | 33百万USドル(約26億円、1USドルを約80円で換算) |
| 出資比率 | 当社：30%　㈱暁星：70% |
| 合弁開始 | 2011年1月(予定) |
| 販売量 | 2011年：約2,000t/月 |
| 売上計画 | 2011年：約40億円 |

## 受賞 材料技術研究開発本部 「第9回 日本イノベーター大賞」優秀賞を受賞

当社フェロー 佐藤謙一が、このほど日経BP社主催「第9回 日本イノベーター大賞」の優秀賞を受賞しました。

日本イノベーター大賞は、日本の産業界で活躍する独創的な人材にスポットを当てることにより、日本に活力を与えようと2002年に日経BP社が創設した賞です。今回、当社フェロー佐藤謙一は、20年以上にわたり超電導技術の応用研究を主導し、世界最高性能の超電導長尺線材の工業生産に成功したことが評価されての受賞となりました。当社が量産化に成功した革新的ビスマス系超電導線「DI-BSCCO®」は、スマートグリッドなどへの適用が期待される「超電導ケーブル」などで用いられます。「DI-BSCCO®」は、線材製作プロセスのうち超電導特性を決定する最後の重要工程である熱処理工程に、当社が独自に開発した「加圧焼成法」を用いて製造する超電導線です。加圧焼成法を用いることで、ビスマス系超電導材料の密度を従来の85%から100%へと向上させ、欠陥の発生を抑制することで、無欠陥で1,000mを超える長尺線材の量産が可能となりました。

当社は、これまで培ってきた材料技術とシステム技術で、21世紀の新しい扉を開く超電導技術をこれからもリードしていきます。

超電導ケーブル

## スポーツ活動 バレーボール部、櫻田杯3位入賞

12月11日～12日に前橋市で開催された「櫻田記念実業団選抜大会(櫻田杯)」に出場したバレーボール部(大阪)は、準決勝で中部徳洲会病院(沖縄)にフルセットの末、1－2(20-22、21-10、12-21)で敗れ、3位入賞となりました。この場をお借りして、皆様のご声援に厚く御礼申し上げます。

今シーズンの最後を飾る「第80回全日本9人制総合男子選手権大会」は、来年1月27～30日に大阪市中央体育館・大阪市立港スポーツセンターで開催されます。今シーズンの9人制全国大会ならびに各都道府県のチャンピオンの全てが参加し、9人制バレーボールの真の日本一が決まります。

当社では、大阪から2チーム、伊丹、横浜、そして、OBチームも加え5チームが出場します。「以球伝心」の精神で優勝を目指すとともに、9人制バレーボールの楽しさを皆さんにアピールしてまいりますので、引き続き応援よろしくお願いします。

## 受賞 住友電工産業電線㈱ 「第55回 澁澤賞」を受賞

この度、6600V分割型高圧ブランチケーブル「高圧モジュール」を共同開発した住友電工産業電線㈱と㈱関電工の開発グループが、(社)日本電気協会より「第55回澁澤賞」を受賞しました。

澁澤賞は、電気保安に優れた業績を上げた個人・グループに贈られ、民間で唯一の電気保安関係表彰として各界より認められている権威ある賞です。

「高圧モジュール」は、高層ビルの電力供給幹線用に開発した新タイプの6600V分岐付ケーブルで、従来、最上階まで一連長だった6600V分岐付ケーブルの幹線を数階分の長さに分割した製品です。モジュール相互の接続は、ケーブルの端末に取り付けた差し込み式の接続装置で行います。これにより、ビル建設の組み上げ工程に合わせて順次布設でき、現場施工の省力化を実現しました。また、トリプレックスケーブルにも適応可能で、高圧ケーブルを短時間かつ高品質で接続できます。

## 展示会 ハードメタル事業部 「第1回 精密・微細加工技術EXPO」に出展

1月19日から21日までの3日間、東京ビッグサイトで開催される「第1回　精密・微細加工技術ＥＸＰＯ」に出展します。
近年、エレクトロニクス開発・製造において精密・微細加工技術は、その重要性を増しています。当社は、樹脂金型加工用cBNエンドミル、光学レンズなどを出展します。

オーロラコート®ロングネックボールエンドミル SNB 2型

スミダイヤ®バインダレス工具

| | |
|---|---|
| 会　期 | 1月19日(水)～1月21日(金) |
| 会　場 | 東京ビッグサイト |
| ブースNo. | 東26-40 |
| 出展製品 | 樹脂金型加工用cBNエンドミル、ダイヤモンドコート工具、マイクロマルチドリル™、光学レンズなど |

主催Webサイト http://www.fp-expo.jp/

## お知らせ 人材開発部 生駒セミナーハウス　開所20周年記念植樹

当社の研修施設である「SEIユニバーシティ生駒セミナーハウス」が、昨年12月に開所20周年を迎え、当社松本社長をはじめとする役員、関係者出席のもと、記念の植樹を行いました。

生駒セミナーハウスは豊かな緑に恵まれた金剛生駒紀泉国定公園の中の「緑の文化園」に立地し当社グループ社員だけでなく広く一般の方にも開放していることもあり、開所以来の利用者累計はのべ約22万6千名に上っています。今回植樹したのは八重紅しだれ桜です。八重桜には「豊かな教養」「理知に富んだ教育」という花言葉があります。また、しだれ桜は寿命が数百年といわれる長寿の樹です。当社グループが「グロリアス・エクセレント・カンパニー」として美しい花を咲かせ、末永く発展するようにとの願いを込めました。今後とも生駒セミナーハウス等を活用して、人材の育成に積極的に取り組んでいきます。

セミナーハウス外観

松本社長挨拶の様子
(左後方：記念樹の八重紅しだれ桜)

## 社会貢献活動 住友電工グループ社会貢献基金2010年度実施の事業

住友電工グループ社会貢献基金は、国内外の様々の分野における人材育成と学術振興を行うことを目的として2009年4月に設立し、2010年2月に公益財団法人として認定を受けました。

2010年度は、最新テクノロジーや地球環境諸問題、基礎教育に取り組む優れた大学講座に対して、応募6件の中から新規に4件、継続案件2件を含めた計6件（総額8400万円）の寄付、科学技術の基礎研究等への学術・研究助成としては、応募60件の中から16件（総額2000万円）の助成を決定しました。

また、日本で就学する外国人留学生（4大学、8名）と、海外の大学に在学する現地学生（4大学、60名）への奨学金支給も実施しています。

公益財団法人住友電工グループ社会貢献基金ホームページ http://www.sei-group-csr.or.jp/

## お知らせ ラジオ新CMのご紹介

当社は、FM802のラジオ番組にCMを提供しています。2011年1月からは、新CM「例えるなら篇」と「住電さんが行く篇」がスタートしました。

「例えるなら篇」では、当社の特長や技術力を、ダンテ・カーヴァーさん、川合俊一さん、ルー大柴さんに例えてわかりやすく伝えています。なんと、ご本人にもご出演頂き楽しいCMになりました。

「住電さんが行く篇」では、社会の色んな場面で困っている人に手を差し伸べる、そんなスーパーヒーロー「住電さん」が繰り広げるストーリーを、当社の特長ある製品とともにお楽しみ頂けます。

**FM802（関西圏　80.2MHz）**

| | |
|---|---|
| 番組名 | 「TRAFFIC INFORMATION by 住友電工」 |
| 放送日 | 毎週日曜日 |
| 時　間 | 7:45、8:45、9:48、10:45、18:57の交通情報番組の終了後 |

※「例えるなら篇」の放送は、1～4月はダンテさん、5月～8月は川合さん、9月～12月はルーさんを予定しています。

ラジオCMは、当社Webサイトでもお聴きいただけます。 http://www.sei.co.jp/ad/

**ダンテさん、製作スタッフの皆さんと記念撮影**

何事にも熱心でサービス精神旺盛なダンテさんのおかげで、和やかに収録を終えました。

**収録中の川合さん**

背の高さにびっくり。収録中には原稿にないアドリブも入り、スタジオは笑いの渦に飲み込まれてしまいました。

**収録中のルーさん**

ルーさんの声とイントネーションが印象的。出来上がってくる作品はどれも面白くて、スタジオを沸かせていました。

［今月のテーマ］

# 一隅を照らし続ける。

自分の持ち場で全力を尽くす、そんな一隅を照らす生き方を、住友を離れた後も続けた人たちがいます。住友のこころを忘れることなく、社会を照らし続けた住友ゆかりの人たちをシリーズで紹介します。

## 人づくりに生涯を捧げた 田中良雄

**住友在職中は20年以上にわたり人事畑を歩んだ田中良雄。仕事とは何かを説いた『職業と人生』を著しています。戦前は住友電工（当時は住友電線製造所）のトップもつとめ、住友退職後も広く人材育成に尽力した住友人です。**

田中良雄（1890～1964）
（写真提供：住友史料館）

### 「人事の神様」と呼ばれて

良き人に育てる。江戸時代から続くこの住友の事業精神は「事業は人なり」と言い換えることもできます。生涯をかけて人づくりに注力した田中良雄は、住友辞職後も一貫して「事業は人なり」を語り実践し続けた人でした。

田中は、1890（明治23）年、現在の富山県射水市の生まれです。宗教心の熱い故郷で、敬虔な仏教徒として育ちました。第四高等学校で学んだ後東京帝国大学法学部に進み、1915（大正4）年に住友に入社。本社の人事部で経験を積みました。後年「人事の神様」と呼ばれた田中は、良き人、良き産業人を育てるため懸命に立ち働きました。

### 住友電工トップとしても活躍

1937（昭和12）年、田中は住友電工の前身である住友電線製造所のトップに就任します。その時の言葉が「これで私はえんま様に顔向けができる」でした。このままデスクワークをしていては、会社員として半人前。やっと会社員として現場に行くことができる。えんま様の前で胸を張って会社員だったと言える。そんな気持ちだったのです。現場主義の住友人らしい言葉でした。

田中が手がけた中でもとりわけ大きな仕事が、伊丹製作所の開所です。社名も住友電線製造所から現在の住友電気工業に改め、未来への展望を踏まえて伊丹に新しい製作所を建設しました。しかし、田中は決しておごることなく、「住友の先輩方が築いてくださった信用のおかげだ」と周囲に語ったといいます。さらに、住友電工の現在の労使協調路線を築き、地域社会との信頼関係の結び目をつないだのも田中でした。

### 住友の事業精神の語り部

住友電工で5年を過ごした後は本社に戻り、住友最後の総理事・古田俊之助の右腕として、戦後の日本産業界を牽引した多くの人材を育成しました。そして1947（昭和22）年に住友本社取締役を辞任。戦後は住友工業高等学校理事長や大阪市教育委員会委員長など人材育成に力を注ぎ、その真摯な姿勢は、求道者とも呼ばれるほどでした。

温かなまなざしで次の世代を見守り、力強い言葉で彼らの成長を支えた田中。「良き人に育てる」の住友の事業精神、その普遍性を広く世の中に伝えた、住友の語り部でもありました。1964（昭和39）年に74歳で亡くなった後も、著書『職業と人生』で、仕事とは何か、生きるとは何かを静かに語り続けています。

【監修】住友史料館 副館長 末岡照啓さん

今月の関係会社紹介

# 住友電工電子ワイヤー㈱
# 住友電工フラットコンポーネント㈱

住友電工電子ワイヤー/住友電工フラットコンポーネントは、前身である住友電工の電子ワイヤー部門が、1971年6月に住友電工の関東製作所として栃木県鹿沼市に進出して以来、日光の山々が眺望できるこの地でエレクトロニクス機器や自動車に使用される配線材料等の製造・販売を行ってきました。

**会社概要**

住友電工電子ワイヤー㈱
（略称:SEIW）

設　　立：2003年4月
代 表 者：代表取締役　齋藤成雄
資 本 金：4億9千万円

住友電工フラットコンポーネント㈱
（略称:SEFT）

設　　立：2003年4月
代 表 者：代表取締役　齋藤成雄
資 本 金：4億円

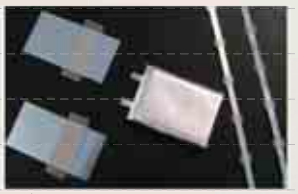
## 次代の最先端を行く電子機器の分野で活躍する製品群

住友電工電子ワイヤーでは、テレビやエアコン等の電化製品や自動車の内部配線として使用される電子線、携帯電話・PC機器・医療機器・自動車用途等の内外部に使用されるデータ伝送用ケーブル及びハーネスを製造しています。

住友電工フラットコンポーネントでは、複数本の導体を平行に並べラミネートしたフラットケーブル「スミカード®」、リチウムイオン電池用のリード線として採用されている「タブリード」等を製造しています。

両社とも、ユーザーの海外生産移管や新興国市場拡大等の事業環境の変化にあわせて積極的に海外展開を進めてきました。現在は、アメリカ、ドイツ、ハンガリー、中国、香港、韓国、シンガポール、マレーシア、ベトナムに海外関係会社が11社あります。

スミカード®


タブリード

**医療機器（超音波診断装置）**

プローブケーブル

**携帯電話**

極細同軸ハーネス

### 職場の雰囲気は

変化の激しいエレクトロニクス業界・自動車業界のお客様とお付き合いさせて頂いていることもあり、各職場は常に忙しく活気があります。海外拠点との交流も活発で、日本（SEIW・SEFT）での受け入れ研修も増加しています。今年度はすでに約50人が来日して約2ヶ月間の実習・研修を受講しており、職場で日本語以外の言葉が飛び交う光景も珍しくありません。モノづくりにおいて改善を進めたり情報を共有化したりしながら、海外拠点との交流・懇親を深めています。

### 今後の展開

エレクトロニクス業界を取り巻く環境は従来以上に変化しています。このような中、住友電工グループの12VISION達成に向けて、今後伸長が期待される電池や高速伝送関連分野等で、当社独自技術を活かした各種製品の供給拡大にも注力していきます。お客様のニーズにお応えできるよう、営業部門・研究部門・各海外拠点とも力を合わせて総合力を発揮して、グループ従業員全員が一丸となって邁進していきます。

# Ingenious Dynamics

**住友電工グループは、卓越した知見と独創性を持ち、**
**そのダイナミクスによって最大効果を創出し、社会の期待に応えていきます。**

---

Ingenious は、それぞれが備え持つ卓越した能力と独創性、そして顧客志向の機動力を、
Dynamics は、原動力（住友の精神）、力学（多角化事業・技術によるグループ全体の総合力）、
変革のエネルギー（進取、気鋭）を表しています。また同時に、頭文字の「ID」は、
グローバルに「住友電工のアイデンティティ」（独自の個性）を積極的に発揮していく姿勢と、
「Infrastructure Development」（社会インフラの発展）に貢献し続ける意志を示しています。


住友電気工業株式会社

http://www.sei.co.jp/（バックナンバーも掲載しています）

本　社（大阪）〒541-0041 大阪市中央区北浜4-5-33（住友ビル） Tel. 06-6220-4119 Fax. 06-6220-6485
本　社（東京）〒108-8539 東京都港区芝浦3-9-1（芝浦ルネサイトタワー） Tel. 03-6722-3100 Fax. 03-6722-3109
中部支社 〒461-0005 名古屋市東区東桜1-1-6（住友商事名古屋ビル） Tel. 052-963-2700 Fax. 052-963-2818
九州支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-2-8（住友生命博多ビル） Tel. 092-441-1791 Fax. 092-473-7084
中国支店 〒730-0031 広島市中区紙屋町1-3-2（銀泉広島ビル） Tel. 082-248-1791 Fax. 082-249-3483
東北支店 〒980-6009 仙台市青葉区中央4-6-1（住友生命仙台中央ビル） Tel. 022-262-7540 Fax. 022-262-7538
北海道支店 〒060-0042 札幌市中央区大通西8-2（住友商事フカミヤ大通ビル） Tel. 011-241-1375 Fax. 011-281-4113
沖縄支店 〒900-0015 那覇市久茂地1-3-1（久茂地セントラルビル） Tel. 098-866-3213 Fax. 098-866-0277
豊田事業所 〒471-0855 愛知県豊田市柿本町2-41 Tel. 0565-26-4105 Fax. 0565-26-4158



住友電工グループニュースレター　第400号.2011年1月発行　編集発行人／中田将稔



PRINTED WITH SOY INK

大豆インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」で印刷しています。